



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 パンチ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6165 URL <http://www.punch.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 森久保 哲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 CFO (氏名) 村田 隆夫

TEL 03-5753-3130

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,991	△14.1	80	△94.2	2	△99.8	△121	—
2019年3月期第2四半期	20,937	5.7	1,374	△2.2	1,340	△4.2	1,005	9.1

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 △504百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 535百万円 (△29.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△5.59	—
2019年3月期第2四半期	45.83	45.65

(注)2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,622	15,122	52.7
2019年3月期	31,155	15,734	50.4

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 15,079百万円 2019年3月期 15,686百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.25	—	6.50	16.75
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2019年11月8日)公表の「第2四半期連結累計期間における業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,400	△13.5	450	△82.5	350	△86.3	50	△94.8	2.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年11月8日)公表の「第2四半期連結累計期間における業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	22,122,400 株	2019年3月期	22,122,400 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	311,296 株	2019年3月期	380,336 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	21,763,749 株	2019年3月期2Q	21,930,779 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は2019年11月18日(月)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については開催後速やかに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復が続いたものの、米中貿易摩擦の一層の深刻化や、欧州の不安定な政治情勢、一部地域の地政学リスクなどから、先行きに対する不透明感が強まりました。また、日本経済においては、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しから景気は緩やかな回復が続いていますが、やはり、先行きの不透明感から投資は慎重、また10月からの消費増税や、相次ぐ自然災害が経済に与える影響に、今後も留意が必要な状況にあります。

このような環境のなかで当社グループは、2016年4月よりスタートした中期経営計画「バリュークリエーション2020」の目標達成に向け、創業者精神である『パンチスピリット』を結集し、「販売5極体制の確立」「お客様サービスの向上」「高収益事業の推進とR&D強化」及び「働き方改革」の4つの重点経営課題に取り組んでおり、米国販売拠点の営業開始、ベトナム工場での半製品及び完成品の生産開始、大連工場増設等、各種施策は着実に進捗しております。

経営成績に目を向けますと、米中貿易摩擦を背景に、日本及び海外、特に中国において、自動車関連、電子部品・半導体関連の需要が落ち込み、いずれも前年同期を下回る売上となりました。また、東南アジア（インド含む）地域においては、ベトナム、インドネシアは堅調に推移したものの、他地域で受注が伸び悩み、前年同期を下回りました。欧米他地域においては、米州は堅調に推移したものの、欧州での受注減もあり、前年同期を下回る売上となりました。

この結果、国内売上高は7,501百万円（前年同期比10.7%減）、中国売上高は8,490百万円（前年同期比18.4%減）、東南アジア地域の売上高は744百万円（前年同期比11.5%減）、欧米他地域の売上高は1,255百万円（前年同期比3.0%減）となり、連結売上高は17,991百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

また、業種別では、自動車関連は7,888百万円（前年同期比13.6%減）、電子部品・半導体関連は2,932百万円（前年同期比26.6%減）、家電・精密機器関連は2,259百万円（前年同期比8.5%減）、その他は4,911百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

利益面につきましては、当社グループ全体で経費削減に取り組み、販売費及び一般管理費は前年同期よりも削減したものの、受注減少に伴う全般的な工場の操業状況悪化による原価率の上昇等により、営業利益は80百万円（前年同期比94.2%減）、経常利益は2百万円（前年同期比99.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は121百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,005百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は28,622百万円となり、前連結会計年度末（2019年3月末）と比較し2,532百万円の減少となりました。これは、主として現金及び預金、売上債権の減少等によるものであります。

総負債は13,499百万円となり、前連結会計年度末（2019年3月末）と比較し1,920百万円の減少となりました。これは、主として短期借入金及び長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は15,122百万円となり、前連結会計年度末（2019年3月末）と比較し611百万円の減少となりました。これは、主として為替換算調整勘定の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,009百万円の収入（前年同期は949百万円の収入）となりました。これは、減価償却費893百万円、売上債権の減少669百万円等による収入が、未払金及び未払費用の減少538百万円等の支出を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは730百万円の支出（前年同期は1,373百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出787百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,381百万円の支出（前年同期は761百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純減少997百万円、長期借入金の返済による支出246百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,206百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年11月8日）公表の「第2四半期連結累計期間における業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,579,757	2,310,516
受取手形及び売掛金	10,988,502	10,065,655
商品及び製品	2,327,055	2,147,494
仕掛品	563,845	516,783
原材料及び貯蔵品	1,772,632	1,719,497
その他	406,829	384,560
貸倒引当金	△79,317	△76,328
流動資産合計	19,559,305	17,068,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,815,288	5,774,635
減価償却累計額	△3,513,182	△3,581,012
建物及び構築物（純額）	2,302,105	2,193,622
機械装置及び運搬具	16,475,727	16,857,572
減価償却累計額	△10,584,871	△10,835,814
機械装置及び運搬具（純額）	5,890,855	6,021,757
工具、器具及び備品	2,281,690	2,362,011
減価償却累計額	△1,720,125	△1,772,888
工具、器具及び備品（純額）	561,565	589,122
土地	822,440	821,301
建設仮勘定	384,704	199,096
その他	17,711	139,974
減価償却累計額	△7,350	△54,840
その他（純額）	10,360	85,134
有形固定資産合計	9,972,032	9,910,035
無形固定資産		
のれん	342,485	297,126
その他	659,476	572,104
無形固定資産合計	1,001,962	869,231
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	32,969
投資その他の資産	669,295	772,541
貸倒引当金	△47,571	△30,661
投資その他の資産合計	621,724	774,849
固定資産合計	11,595,718	11,554,116
資産合計	31,155,023	28,622,294

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914,023	2,728,217
電子記録債務	1,234,543	1,108,905
短期借入金	3,832,611	2,741,291
1年内返済予定の長期借入金	493,764	493,764
未払法人税等	204,076	180,713
役員賞与引当金	—	2,556
賞与引当金	469,679	769,919
その他	2,382,396	1,829,725
流動負債合計	11,531,095	9,855,093
固定負債		
長期借入金	2,341,918	2,064,950
厚生年金基金解散損失引当金	92,819	92,819
退職給付に係る負債	978,841	1,032,722
その他	476,165	454,347
固定負債合計	3,889,744	3,644,839
負債合計	15,420,839	13,499,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,897,732	2,897,732
資本剰余金	2,626,732	2,631,290
利益剰余金	10,167,276	9,903,469
自己株式	△191,637	△156,909
株主資本合計	15,500,105	15,275,582
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	282,246	△113,134
退職給付に係る調整累計額	△95,757	△83,088
その他の包括利益累計額合計	186,488	△196,223
新株予約権	38,211	33,252
非支配株主持分	9,378	9,750
純資産合計	15,734,184	15,122,361
負債純資産合計	31,155,023	28,622,294

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	20,937,251	17,991,735
売上原価	15,036,896	13,577,791
売上総利益	5,900,355	4,413,943
販売費及び一般管理費	4,526,024	4,333,739
営業利益	1,374,331	80,203
営業外収益		
受取利息	14,756	19,024
作業くず売却益	20,257	16,721
その他	33,390	15,196
営業外収益合計	68,404	50,942
営業外費用		
支払利息	65,845	85,177
その他	36,753	43,150
営業外費用合計	102,599	128,327
経常利益	1,340,136	2,818
特別利益		
固定資産売却益	2,739	2,990
特別利益合計	2,739	2,990
特別損失		
固定資産除売却損	10,691	9,083
特別損失合計	10,691	9,083
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,332,184	△3,274
法人税、住民税及び事業税	403,626	287,228
法人税等調整額	△77,699	△169,278
法人税等合計	325,926	117,950
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,006,258	△121,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,189	379
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,005,068	△121,605

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,006,258	△121,225
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△489,076	△396,132
退職給付に係る調整額	18,551	12,668
その他の包括利益合計	△470,525	△383,464
四半期包括利益	535,733	△504,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,708	△504,317
非支配株主に係る四半期包括利益	△975	△371



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,332,184	△3,274
減価償却費	822,131	893,688
のれん償却額	39,366	38,096
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,144	39,219
賞与引当金の増減額(△は減少)	252,546	308,422
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,957	2,556
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,462	△17,398
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△3,410	—
受取利息及び受取配当金	△15,056	△19,324
支払利息	65,845	85,177
為替差損益(△は益)	20,743	6,097
固定資産除売却損益(△は益)	7,952	6,093
売上債権の増減額(△は増加)	46,327	669,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	△339,397	188,083
仕入債務の増減額(△は減少)	279,481	△215,295
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△959,926	△538,461
その他	△282,712	△69,616
小計	1,328,641	1,373,652
利息及び配当金の受取額	15,056	19,324
利息の支払額	△33,298	△70,085
法人税等の支払額	△361,013	△313,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	949,385	1,009,616
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	47,234	63,101
有形固定資産の取得による支出	△1,316,596	△787,714
有形固定資産の売却による収入	9,056	2,858
無形固定資産の取得による支出	△119,076	△26,373
長期貸付金の回収による収入	2,730	2,730
その他	3,461	14,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,373,190	△730,838
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△567,300	△997,118
長期借入れによる収入	318,720	—
長期借入金の返済による支出	△359,032	△246,882
割賦取引による収入	115,382	43,000
割賦債務の返済による支出	△48,534	△38,100
配当金の支払額	△219,223	△141,323
その他	△1,032	△1,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761,020	△1,381,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82,672	△103,034
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,267,497	△1,206,200
現金及び現金同等物の期首残高	3,689,489	3,516,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,421,991	2,310,516

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

当該会計基準の適用に伴い、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が76百万円、流動負債の「その他」が45百万円、固定負債の「その他」が32百万円それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

（セグメント情報）

当社グループは、金型用部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。